バラエティ豊かなラインナップ
チョコエッグ
本物のおいしさ
セコイヤチョコレート
フルタ製菓株式会社
〒544-0023　大阪市生野区林寺6-7-22

菓子・食品・パン関連資材専門紙　流通記者会加盟紙

菓業食品新聞

The Journal of confectionery

URL：https://okashi.info　e-mail：ks-news@okashi.info

令和7年　4月12日（土曜日）
（毎月12、22日発行）第2338号
昭和41年7月2日第3種郵便物認可

発行所　〒564-0053 大阪府吹田市江の木町11-38-618
TEL 06(6385)1717 FAX06(6385)0150
株式会社 菓業食品新聞社
支社・京都
発行人　狩野　智子　　一カ年　8,800円

総務省統計

2024年15歳未満の子ども人口 1401万人、33万人減

43年連続減少

15歳未満、総人口の11・3％

子どもの割合、50年連続で低下

2024年4月1日現在における子どもの数（15歳未満人口、以下同）は、前年に比べ33万人少ない1401万人で、1982年から43年連続の減少となり、過去最少となった。男女別では、男子が718万人、女子が683万人となっており、男子が女子より35万人多く、女子100人に対する男子の数（人口性比）は105・0（前年同）となっている。

子どもの数を年齢3歳階級別にみると、12～14歳が317万人（総人口に占める割合2・6％）、9～11歳が305万人（同2・5％）、6～8歳が288万人（同2・3％）、3～5歳が257万人（同2・1％）、0～2歳が235万人（同1・9％）となっている。さらに、中学生の年代（12～14歳）、小学生の年代（6～11歳）、未就学の乳幼児（0～5歳）の3つの区分でみると、それぞれ317万人（同割合2・6％）、593万人（同4・8％）、491万人（同4・0％）となっている。

子どもの総人口に占める割合は、1950年に3分の1を超えていたが、第1次ベビーブーム期（1947～1949年）の後、出生児数の減少を反映し低下を続け1970年に23・9％となった。第2次ベビーブーム期（1971～1974年）の出生児数の増加によってわずかに上昇し1974年に24・4％となったが、翌年から低下を続け、2024年は11・3％（前年比0・2ポイント低下）で過去最低となった。子どもの割合は1975年から50年連続で低下している。

都道府県別の15歳未満によると、前年に比べ47都道府県すべてで減少となった。子どもの数が100万人を超えるのは、東京都、神奈川県のみ（前年までは大阪府も該当）となった。

割合が一番多いのは沖縄県23万6千人（16・3％）で、次いで滋賀県18万2千人（13・0％）、佐賀県10万3千人（12・9％）となった。

2024年 男女、年齢3歳階級別子どもの数

		こどもの数	未就学の乳幼児（0～5歳）			小学生（6～11歳）			中学生（12～14歳）
				0～2歳	3～5歳		6～8歳	9～11歳	
人口（万人）	男女計	1401	491	235	257	593	288	305	317
	男	718	252	120	131	304	148	156	162
	女	683	240	114	125	289	141	149	155
総人口に占める割合（%）		11.3	4.0	1.9	2.1	4.8	2.3	2.5	2.6

男女別子どもの数

		2024年4月1日現在	2023年4月1日現在	対前年増減数
こどもの数（万人）	男女計	1401	1435	−33
	男	718	735	−17
	女	683	700	−16
	人口性比	105.0	105.0	0.0
総人口（万人）	男女計	12400	12455	−55
	男	6033	6057	−25
	女	6368	6398	−31
	人口性比	94.7	94.7	0.0
総人口に占めるこどもの割合(%)		11.3	11.5	−0.2

子どもの割合 沖縄県が最多

3年10月1日現在の統計となった。

一方、最も少ないのは、秋田県8万3千人（9・1％）、次いで青森県11万8千人（10・0％）、北海道51万4千人（10・1％）となっている。

世界統計（2023年値）による各国の子どもの割合は、人口4千万人以上の国で、韓国の11・2％に次いで日本は2番目に低い。3番目はイタリアで12・2％。中国は16・8％、フランス、イギリス、ロシア、アメリカ合衆国は17％台。一方、発展途上国では高く、最多はコンゴ民主共和国で46・5％だった。2024年の統計で、全世界の約3・5％にあたる470万人の子どもが18歳未満の母親から生まれており、そのうち34万人が15歳未満の母親からである。若い母親とその子どもの健康に深刻な悪影響を及ぼすとして、世界的な課題とされている。

大阪・関西万博 4月13日に開幕

大阪・関西万博が、大阪市此花区夢洲でいよいよ開幕する。開催期間は4月13日～10月13日の184日間で、テーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」。

菓子業界では、全国菓子工業組合連合会が「ORA外食パビリオン」で、和洋の工芸菓子の展示と菓子の販売を行う。江崎グリコは「大阪ヘルスケアパビリオン」とシグネチャーパビリオン「EARTH MART」に協賛し、展示を行う。また、青木松風庵と春華堂のコラボ出店のほか、大阪産（もん）名品の会や京都物産出品協会、不二家も出店する。近鉄百貨店、大丸松坂屋百貨店等が運営する公式ショップでは、記念の土産菓子が多数販売される。次号に詳しい取材記事を掲載。

ORA外食パビリオン

2面 扇雀飴 100周年祝賀会
7～10面 ANKA24年菓子統計
12面 たねや「LAGO 大津」